

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：社会福祉費 目：障害者福祉費

## 事業名 障害者芸術・文化祭サテライト開催事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 障害福祉課 社会参加推進係 電話番号：058-272-1111 (内 2613)

E-mail：[c11226@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11226@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 10,000 千円 (前年度予算額：10,000 千円)

### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
要求額	10,000	5,000	0	0	0	0	0	0	5,000
決定額									

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

平成30年6月13日に「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」が施行され、障がい者の芸術文化活動に関する施策をより一層進め、障がい者の社会参加を促進する必要がある。

本県でも障がい者の芸術文化活動のさらなる振興を図るとともに、「障がい者の文化芸術活動の拠点」をコンセプトの一つとするぎふ清流文化プラザを中核とした障がい者芸術の支援に取り組む必要がある。

### (2) 事業内容

第22回全国障害者芸術・文化祭おきなわ大会と連携して、県内外の障がい者による作品展示やパフォーマンスイベントなどを行う「いろんなみんなの展覧会」をサテライト開催する。また、自宅でも楽しめるインターネット活用事業を実施する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

- ・国1 / 2 県1 / 2 国庫補助 (上限 5,000 千円)

(4) 類似事業の有無

- ・ 無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	10,000	全国障害者芸術・文化祭サテライト開催業務の委託
合計	10,000	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・ 「清流の国ぎふ」創生総合戦略（障がい者の芸術文化活動への参加促進）
- ・ 第3期岐阜県障がい者総合支援プラン（障がい者の芸術文化活動の充実）

(2) 国・他県の状況

- ・ 令和3年度は15府県で開催  
（全国障害者芸術・文化祭開催県を除く）

(3) 後年度の財政負担

- ・ 芸術活動を通じ障がい者の社会参加を促進するため、継続的な実施が必要

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・ 実施主体の（公財）岐阜県教育文化財団は、「障がい者の文化芸術活動の拠点」をコンセプトの一つとするぎふ清流文化プラザにあり、岐阜県障がい者芸術文化支援センターの事務局であることや障がい者芸術文化コーディネーターを設置するなど、障がい者の芸術支援に関するノウハウを有しており、委託先として妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 既に芸術活動に取り組む障がい者の一層の創作意欲の向上及びこれから芸術活動に取り組む障がい者の裾野拡大を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R5)	達成率
① サテライト開催事業来場者数	—	1,393	1,400	1,400	1,400	99.5%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>下記のとおり展覧会を開催し、障がい者の社会参加を促進するとともに、障がい者についての理解促進に取り組むことができた。</p> <p>①いろいろなみんなの展覧会「種を、まく。」              日時：令和2年10月8日(木)～11日(日)              場所：ぎふ清流文化プラザ（岐阜市）</p> <p>②いろいろなみんなの展覧会巡回展「空想生物展」（東濃）              日時：令和2年11月10日(火)～23日(月・祝)              場所：ミュージアム中仙道（瑞浪市）</p> <p>③いろいろなみんなの展覧会巡回展「多様な有りよう展2020」（西濃）              日時：令和2年11月25日(水)～12月20日(日)              場所：OKBギャラリーおおがき（大垣市）</p>
令和3年度	<p>指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：____%</p>

令和 4 年度	
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	障がい者の芸術作品の展示など発表の機会を創出することは、障がい者の社会参加の促進につながることから必要である。
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	昨年 of 展覧会では、計1,393名の来場者を得て、障がい者の作品の魅力幅広く伝える機会となった。このような取り組みは、より多くの作家の異なる作品を、期日や会場を替えて開催していることによるものである。
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	ぎふ清流文化プラザを中心に、各圏域でアウトリーチ展や巡回展を開催することで、効率的に県民が作品に触れる機会を作っている。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 障がい者芸術には多彩な分野があり、創作活動のレベルにも差があるため、それぞれの分野やレベルに応じた支援方法を検討する必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後も、同様の展覧会を継続するとともに、県内5圏域における巡回展を偏りなく開催し、広く県民に障がい者芸術に触れる機会を創出することで、芸術活動に取り組む障がい者の一層の創作意欲の向上及びこれから芸術活動に取り組む障がい者の裾野拡大を図るため、継続する必要がある。</p>
---

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	